

金融サービスに関する リアルタイムデータと分析

テレマティクススペースの保険会社は、 AI とのリアルタイム分析に Kinetica を利用している

競争の激しい市場において、保険会社は顧客を引き付け維持するために、リスク格付け、価格の正確性、請求の処理を改善し、不正行為を減らすために差別化された製品を提供しなければなりません。テレマティクススペースの保険は、大規模で複雑なストリーミングデータを管理し、人工知能を備えたリアルタイム分析を配信するために新しい能力を必要としています。ストリーミング分析、地理空間分析、IoT、およびビジネスを動かすためのディープラーニングを利用した分析を提供するのは Kinetica のみです。Kinetica を利用すれば、自動的にパターンと異常が発見でき、正確な保険料設定とリスク管理のためのドライバーの行動についてのリアルタイムな洞察を得ることができます。

保険会社は、新興リスクの発見や 新保険商品の開発に Kinetica を活用している

保険会社は、連続的に移動する構造化および非構造化データの記録、管理、および分析に苦労しています。彼らは、新興のリスクパターンを特定し、顧客の獲得、維持、請求処理の改善、およびコスト削減を促進するために、より良い製品およびサービスを設計することを望んでいます。Kinetica は、ソーシャルメディア、ニュースアウトレット、通話記録、クレーム文書、天気、およびアジャスターの記録からのデータを統合するためのスケールおよび自動化を伴う新しい認知能力を提供します。顧客をより良くマーケティングし、獲得し、維持するためのパターンと異常を発見できます。自然災害や盗難などの有害事象を予測するには、ディープラーニングを利用し、個人資産保険と顧客への通知を積極的に提供します。

洞察（複雑な状況を正確に詳細に理解すること）が収益に直結する産業においては、ミリ秒単位のスピードが重要であり、機械学習、ディープラーニング、または、より速い分析は明確な競争優位を提供することになります。Kinetica は、金融サービス組織がミリ秒単位で膨大な量の複雑なストリーミングデータから洞察を得ることを可能にします。Kinetica のインスタント・インサイト・エンジンを人工知能とカスタマー・エクスペリエンス、不正分析、リスク管理、およびアルゴリズム取引を含む真のリアルタイム分析の要求に利用できます。

金融機関のためのデータサイエンスの民主化

Kinetica の UDF(User-Defined Function) 機能では、データ探索、モデル開発 / スコアリング、およびモデル適用をすべてハイスパックの単一のコンピューティングプラットフォーム上で実行できます。これは、システム間でデータを移動する必要なく、オンデマンドで複雑なクエリを実行できることを意味します。データ移動の課題を解決し、機械学習、深層学習、および OLAP 作業のためのより単純なアーキテクチャを可能にします。Kinetica を使えば、顧客の経験とリスクを対話的に管理できるようになり、データドリブンによる意思決定をより迅速に行い、組織の利益を高めることができます。

Kinetica には、オペレーショナル・エクセレンス、カスタマー・エクスペリエンス、 リスク管理など、市場に適用できる多くのユースケースがあります。

不正請求とサイバーリスクの検出

大量の異なるタイプのトランザクション、トレードデータ、不正請求の検出およびサイバーセキュリティに必要なマシンデータのリアルタイム分析を実行することは、最先端のデータシステムでさえも難しい課題です。Kinetica ほど、不正請求およびサイバーセキュリティのモデル化を行う人が、リレーションシップ、異常および潜在的な不正請求または疑わしい行動を信号で伝えるパターンを明らかにするために、大きなストリーミングデータセットに対してクエリを実行できるようにすることを可能にする製品はありません。Kinetica を使用して、データフィードと異常検出を組み合わせ、グローバル・アタックの複数のストリームを監視し、セキュリティ欠陥を見つけ、システムログ確認することで、不正請求およびサイバーセキュリティを管理することができます。

Kinetica インサイトエンジン



カウンターパーティリスク分析を 一晩からリアルタイムに移行させる ヨーロッパの大手銀行

規制環境の増大に伴い、銀行はトレーディングブックの公正価値の決定に苦慮しています。評価調整は将来に数年を予測する必要があり、組織はリアルタイムの洞察を必要とするので、リスク計算はより複雑になり、計算が重くなりつつあります。

ヨーロッパの大手銀行は、トレーディングブックの公正価値を正確に測定しリスクを管理するために、リアルタイムのカウンターパーティリスク分析を支援する必要がありました。銀行は、Kinetica の GPU 加速データベースに移行し、リアルタイムで各取引のリスクメトリックを計算するスケールでカスタムリスクアルゴリズムをデータベース内で実行します。Kinetica は、銀行が夜間バッチシステムの分析から、トレーダー、監査人、および管理者によるリスク管理のためのリアルタイムストリーミングシステムに移行することを可能にします。



Kinetica によるリアルタイムの
カウンターパーティリスク分析

規制のコンプライアンス

金融機関は、しばしば規制遵守に対処するために細分化されたアプローチをとりまします。規制遵守のアドホックエリ要求は、関連する大きなデータセットでは遅く、扱いにくいです。Kinetica では、グローバルなコンプライアンス需要の増大に対応できると同時に、水平スケラブルなアーキテクチャを活用して大規模なレポートを行い、コンプライアンスと規制コストを大幅に削減することができます。

リアルタイムでオムニチャネルのカスタマー・エクスペリエンス

アップセルの機会を発見するために、オンライン、モバイル、支店、コールセンター、およびソーシャルメディアなどのチャネルを横切ってチャネル内のリアルタイム顧客活動を分析し、それを顧客プロフィール、好み、以前の購入、および信用の様な休止時のデータと組み合わせることは、従来のデータシステムにとって複雑になりすぎ、また遅くなりすぎる作業負荷の一部でした。Kinetica は、大規模かつリアルタイムでデータを取り込み、照会する能力があるため、金融機関は、カスタマー・エクスペリエンスを改善し、コストを削減し、収益性を改善するための無数の方法を提供しています。小売銀行、伝統的な資産運用会社、クレジットカード発行会社、伝統的な貸付機関は、Kinetica を使って、顧客の行動パターンを見つけ、顧客の経験を改善し、アップセルの機会を見つけることができます。

リスク管理

リアルタイムかつイントラデイのリスクマネジメントは、今日の金融業界が直面している大きな問題であり、従来のコンピューティングを限界まで押し進めています。Kinetica は、複数のシナリオを迅速に可視化およびシミュレートし、リスク・エクスポージャーを明らかにすることができるので、疑わしい活動を数時間ではなく数秒で検出することができます。1 秒未満のスピードで最新データを使ってオンデマンドでリスク計算を行い、より良い情報に基づいた投資判断を行い、市場イベントに迅速に対応し、同時に信用リスクを減らすことができます。

カウンターパーティリスク分析

銀行は、カウンターパーティ・クレジット・リスク (CCR: counterparty credit risk) 機能を採用することによって、慎重なビジネス決定を行う能力を向上させることができます。Kinetica は、より複雑な市場またはカウンターパーティのリスク計算を実行し、一晩ではなく日中に結果を得るために使用することができます。情報のスピードと質は、エクスポージャーについてのより深い洞察を与え、ポジションを迅速に調整し、リスクを軽減することを可能にします。Kinetica は、ダウンタイムなしでカウンターパーティリスクを計算するために必要な速度、パフォーマンス、信頼性、およびスケラビリティを提供します。また、リスク閾値を超えた場合、リアルタイム警告をサポートすることもできます。使いやすいポイントングクリック BI およびビジュアル化ツールとの統合は、トレーダー、ビジネスアナリスト、および経営幹部に、より迅速な意思決定のための豊富な洞察をもたらすことができます。

アルゴリズム取引

アルゴリズムトレーディングは、ポートフォリオリターンを最大化するために、複雑な数学的モデルを伴う膨大な履歴データを使用します。このデータにアクセスし、大量のライブストリーミングデータに対して分析を実行できるようにする必要があります。

Kinetica では、すべてのソースからデータをすべてメモリにロードし、GPU のパワーを活用して、よりリアルタイムのユーザ体験を可能にすることで、膨大な量のティックデータを管理できます。